

契約締結前交付書面の一部改訂について

2022年12月1日
キャピタル・パートナーズ証券株式会社

平素よりキャピタル・パートナーズ証券をご利用いただき、誠にありがとうございます。
2022年12月5日付で「上場有価証券等書面」の一部改訂を行います。

●上場有価証券等書面

レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点を追加いたしました。

詳しくは、以下の新旧対照表をご確認ください。

上場有価証券等書面新旧対照表

(下線部分修正)

新	旧
上場有価証券等に係る金融商品取引契約の概要 (現行どおり)	上場有価証券等に係る金融商品取引契約の概要 (省略)
<u>レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点</u>	(新設)
<u>上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN(※1)のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。</u>	
<u>・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。</u>	
<u>・上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。</u>	
<u>・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、又は窓口にてお尋ねください。</u>	
※1「上場有価証券等」には、特定の指標(以下、「原指数」といいます。)の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託(以下「ETF」といいます。)及び指数連動証券(以下、「ETN」といいます。)が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+ (プラス) 1を超えるものを「レバレッジ型」といい、- (マイナス) のもの(マイナス1倍以内のものを含みま	

以上